



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「2014年秋の大会」開催のお知らせです。当学会では、東京電力福島第一原子力発電所事故について、その収束と今後の教訓に資するため、学術的、技術的見地から検討を行っていますが、本大会においても、各部会等における検討状況などを一般公開セッションにてご報告いたしますのでご案内いたします。

**日本原子力学会「2014年秋の大会」開催
主な一般公開セッション（入場無料）のご案内
9月8日～10日 京都大学**

期日：2014年9月8日(月)～10日(水)

場所：京都大学吉田キャンパス(京都市左京区吉田本町) <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/>

主催：一般社団法人日本原子力学会 <http://www.aesj.or.jp/>

共催：京都大学大学院工学研究科

福島第一原子力発電所事故関連の一般公開セッション(8日・9日)は、A会場(百周年時計台記念会館百周年記念ホール)で行います。(10日はK会場(工学部3号館W201))

9月8日(月)【A会場】

10:20～11:50 「倫理規程の意義はどこにあるのかーコトバと行動ー」(倫理委員会)

- ・倫理規程改定と事故・トラブル (倫理委員長 大場恭子)
- ・倫理規程(コトバ)と実業務の狭間は埋められるか? (副委員長 宮越直樹)

13:00～14:30 「原子力界にとってこれから解決すべき課題と方向」(社会・環境部会)

- ・大飯原発差止め訴訟1審判決の読み方 (慶応大学 藤原淳一郎)
- ・判決が照らした意識の「断層」(朝日新聞 加戸靖史)
- ・大飯判決が問いかけるもの(JAEA 佐田務)

14:40～16:10 特別講演「今後の原子力利用の方向性について」

- ・今後の原子力 (原子力委員会 岡 芳明)
- ・JAEAにおける原子力の研究開発 (JAEA 松浦祥次郎)

16:20～17:50 「原子力人材育成教育」(理事会)

- ・挨拶・企画趣旨 (会長 藤田玲子)
- ・学会事故調からの人材育成の提言 (関西電力 齋藤昌之)
- ・原子力人材育成ネットワーク戦略ロードマップ (東京大学 上坂 充)
- ・学会の役割と今後の活動 (教育委員長 浜崎 学)

9月9日(火)【A会場】

10:30～12:00 「これからの原子力安全研究への取組み」(原子力安全部会、特別専門委員会共催)

- ・安全研究ロードマップ構築 (東京大学 関村直人)
- ・JAEA 安全研究センターにおける研究 (JAEA 中村秀夫)

13:00～14:30 「コミュニケーターにとって線量の単位『シーベルト』は混乱の要因か?」(保健物理・環境科学部会)

- ・シーベルトとは(KEK 平山英夫)
- ・福島第一原発周辺の空間線量率分布と被ばく線量 (JAEA 齋藤公明)
- ・個人線量計による個人被ばく線量評価の経験 (放医研 大町 康)

14:40～16:10 「食品モニタリングの現状と将来」(放射線工学部会)

- ・食品モニタリングに係る基準について (産総研 柚木 彰)
- ・高感度放射能計測技術の動向 (東京大学 高橋浩之)



- ・魚用非破壊放射線測定器の開発 (古河機械金属 吉野将生)
 - ・レーザーによる海産物中ストロンチウム⁹⁰の迅速分析法の開発 (東京大学 長谷川秀一)
- 16:20~17:50 「初等・中等教育における放射線・原子力教育の状況」(教育委員会)
- ・中高生のための原子力・科学技術教育プログラムの開発
—IAEA 専門家会議の動向— (原子力産業協会 木藤啓子)
 - ・科学的に探究する放射線教育及び研究開発との連携 (郡山第六中学校 佐々木清)
 - ・近畿大学原子炉を用いた教員向け原子炉実験研修会 (近畿大学 若林源一郎)

9月10日(水)【K会場】

- 10:30~12:00 「徹底討論 業界活性化のために 今、若手にできること」(原子力青年ネットワーク連絡会)
- ・原子力若手討論会 NEFY での議論 (JAEA 泉 正憲)
 - ・IYNC2014 における福島セッション (東京都市大学 羽倉尚人)
 - ・主要国における若手活動 (電中研 菅原慎悦)
 - ・産業界からの期待と支援 (電源開発 市川健児)
- 14:40~16:10 「市民・学生目線でリスクを考える—学生とシニアのリスク討論会—」(シニアネットワーク連絡会)
- ・原子力施設の安全規制とリスク管理(大阪大学 山口 彰)
 - ・パネル討論

その他の一般公開セッション

9月8日(月)

- 13:00~14:30 (J 会場) 「原子力発電に係る新技術開発状況について」(原子力発電部会)
- 13:00~14:30 (F 会場) 「我が国の原子力政策・国際協力の動向」(海外情報連絡会)
- 13:00~14:30 (G 会場) 「リスク評価の完全性を目指した取り組みとその意義」(標準委員会)

9月9日(火)

- 13:00~14:30 (D 会場) 「核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究 WG 報告」(再処理・リサイクル部会)
- 13:00~14:30 (P 会場) 「国内外における核不拡散確保及び核セキュリティ向上への取り組み」
(核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会)
- 13:00~14:30 (M 会場) 「原子力分野における希望ある活躍のために—ロールモデル集作成の取組—」
(男女共同参画委員会)
- 13:00~14:30 (F 会場) 「原子力安全確保のための論理的かつ統合的な規格基準体系」(標準委員会)

9月10日(木)

- 13:00~14:30 (G 会場) 「原子力プラントの継続的な安全性向上対策採用の考え方」(標準委員会)

※ その他のセッションについては、当学会「2014 年秋の大会」HP をご覧ください。

http://www.aesj.or.jp/meeting/2014ff/14Fall_program18-45.pdf

大会を取材される報道機関の皆様へ

本大会の取材をご希望の際は、以下の手順でお手続きをお願いいたします。

1. 大会総受付(物理系校舎 1F 正面玄関)へお越しいただき、受付担当者へ名刺をお渡しください。
2. 「取材申込用紙」に氏名・社名、取材を希望されるすべてのセッション名 (または会場名)をご記入ください。
3. 「報道関係者」の名札をお渡ししますので、名札を必ず付けて、取材希望セッション会場へお入りください。
4. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。
個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。
会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
5. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

●会長記者会見のご案内

9月5日(金) 16:00より原子力学会会議室(東京都港区新橋2-3-7 新橋第二中ビル3階)において本大会のご紹介や今年度のこれまでの活動のご報告を行います。